

農業



平成24年 1月号
会誌 No. 1555

目次

巻頭言

年頭にあって……………武政 邦夫 3

農事功績者表彰

平成23年度第95回農事功績者表彰…………… 4

式典・式辞・祝辞・答辞

平成23年度第95回農事功績者氏名および表彰事由…………… 10

農事功労者（国内，国外）

農事改良普及功労者

農業技術開発功労者

本会功労者

論壇

社会科学の役割……………生源寺眞一 17

農業懇話会・農芸委員会

東日本大震災と農村社会の復旧・復興について……………生源寺眞一 19

講演

混迷の農政と大震災の衝撃

震災で問われている基本問題

農業・農村復興の手順と態勢

復旧・復興ビジョンのために

まとめに代えて

意見交換…………… 30

農業技術開発研究会

第9回今後の農業技術開発・普及機能に関する研究会……………	36
第8回「今後の農業技術開発・普及機能に関する研究会」の論点……………	36
農事組合法人 百世の取組み……………	下川 茂利 38
経営展開の経緯と現状	
法人化への支援施策	
技術革新の取組みの概要	
これまでの試験研究機関、普及組織等との関係及び今後の取組み	
特記すべき事項	
意見交換……………	50

農業・農村の現場から

青森リンゴの明日……………	山野 豊 58
- 震災・輸出・TPP・・・, 最近考えていること -	

世界の農業は今

ウズベキスタンにおける農業生産と塩類集積対策……………	大西 純也 64
-----------------------------	----------

東京農業大学収穫祭から(Ⅱ)

親水機能～都市河川再生～……………	生産環境工学科水利施設工学研究室 68
-------------------	---------------------

農政情報

……………	73
-------	----

大日本農会だより……………	74
---------------	----

編集部から……………	75
------------	----

謹賀新年……………	76
-----------	----

表紙写真説明

みかんと富士(神奈川県二宮町)

神奈川県はかつてはみかん栽培の北限と言われ、小田原市など産地が多くあった。この写真の撮影地、二宮町役場のホームページには、「みかん栽培の北限にあたる二宮」と記されている。今日では、温暖化の影響で、少量であるが茨城県の福島県境近くや新潟県佐渡島でも出荷されている。二宮町のみかん生産には、東京大学農学部附属二宮果樹園(1926年開園, 2008年閉園)での成果が広がっていったといわれている。「湘南みかん」のブランドで首都圏では著名のブランドであった。現在では品種も増え、10月から3月まで出荷される。

現在、神奈川県のみかん生産量は、和歌山県、愛媛県、静岡県、熊本県、長崎県と続く順位では第10位になっているが、神奈川の農村景観に写真のようなみかんが鈴なりになっている風景に象徴されている。最近の県のホームページでは、「みかんと言えば、愛媛県。オレンジと言えばカリフォルニア。そんな日本の常識を、神奈川は変えるかもしれません」というコピーがある。これは神奈川県農業技術センターが12年の歳月をかけて育成した「湘南ゴールド」という今村温州と神奈川県西部で採れるゴールドオレンジ(黄金柑)の交配で作られたみかんである。

(写真撮影: 本会編集部)